

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-51 国民年金事務 <input type="checkbox"/> 支援部門									
主管課	保険年金課	関連課								
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	年金受給権の確保。年金制度に対する信頼の回復									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数	39,237	39,734人	40,140						
事業費(千円)	590	591	679							
運営資源状況	(国・県)	30,474	36,128	36,379						
	(負担金等)									
	(一般財源)	▲ 29,884	▲ 35,537	▲ 35,700						
	人員配置数	5.3人	5.2人	5.2人						
	人件費(千円)	41,452	42,596	46,288						
	協働のパートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	42,042	43,187	46,967					
	市民1人当りの経費(円)	236	244	265						
	対象者1人当りの経費(円)	1,071	1,087	1,170						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名→	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市				
	被保険者数	39,237人	97,732人	55,999人	62,533人	42,631人				
	収納率(%)	68.5	60.5	63.4	55.0	63.0				
	免除率(%)	22.7	25.2	25.7	25.2	26.4				
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
窓口来訪者数		目標値								
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	9,010人	8,964人	7,968人	7,316人				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
国民年金事務	590	国民年金事務	2,175	今後の方向性	B	理由・手法	国民年金事務は法定受託事務であり、今後も継続が必要である。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	平成22年1月の日本年金機構設立後、現状では、年金制度の一元化や10年年金への移行などの課題が生じている。その一方で、以前から年金制度に関する不安が各種メディア等で取り上げられており、市としても窓口や電話等での相談を通じて、年金制度の信頼を回復することが課題となっている。							
課題解決のための取組	国民年金事務は法定受託事務であり、適用や給付等に市の裁量が働く余地がないが、保険料の免除申請等の説明や年金の請求漏れを防ぐべく65歳到達者への裁定請求の案内通知など、市として実施可能なサービスを行った。					取組の結果	□解決 ■未解決	
未解決の課題	平成22年1月から社会保険事務所が日本年金機構に替わったことにより、事務処理が変更になった点や連絡体制の未構築の部分について、より一層の連携を図っていく必要がある。							
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	国民年金事務は法定受託事務であるため、引続き、日本年金機構とのより一層の連携を図りながら、市民に対して国民年金の制度について、理解を得られるよう努めていく。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B		
※□事業完了								

評価者名

保険年金課長

持田 浩史

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
国民年金事務	資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請及び老齢福祉年金諸届等の受理・審査並びに外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談などを行った。 特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査などを行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		59	臨時的任用職員賃金	231	206	○	○	○	○
	59	国民年金事務用消耗品費	264	201	○	○	○	○	
	59	電子複写機賃借料	241	183	○	○	○	○	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								